

図書館からのお知らせ

「ピオトープで、水辺の生きものと触れ合おう」参加者募集！

日時：7月23日（日）
9時30分～11時30分

場所：下大池八幡神社の境内集合
講師：アクアの会 上條一則さん
持ち物：水中の生き物をすくう道具
入れ物
ぬれてもいい靴
着替え

定員：20人
お問い合わせ・申し込み
山形村図書館 ☎0263-98-3155

※今年の図書館夏休みのテーマは、
「めざせ、虫博士！」
虫に関する本を多数集め展示します。
7月22日～8月23日まで

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館へ！

BOOK No.64

編集＝山形村図書館

『図書館の未来を語る』 ～複合施設ワークショップ～

6月3日(土)、トレーニンングセンターで、複合施設ワークショップが開催されました。全4回に分けて各回テーマを決めて開催されたワークショップの記念すべき初回は『図書館』がテーマ。県図書館協会副会長の伊東直登さんを調整役に、参加者17人を2グループに分け、ハード面、ソフト面、三機能の融合の観点で、意見を寄せていただきました。

「木をふんだんに使った建物を」「カフェスペースがほしい」「介護者や、ジェンダーに配慮したトイレの設置」「座り心地のいいイスやソファ」「アットホームでくつろげ



る今の良さを残したい」などなど。身を乗り出して付せんを貼る参加者。こんな図書館にしたいという熱い思いがあふれたワークショップになりました。
第2回はミュージアムがテーマに開催され、第3回は居場所、最終回は施設全体についてのワークショップが予定されています。村民のみなさんのご意見をください。そして、いいものを創っていきましょう。
旧ふるさと伝承館×図書館コラボ「帯(おび)」展開催
ふるさと伝承館は、老朽化のため令和2年に閉館しました。収蔵・展示されていた資料は現在、仮の収蔵庫に移されています。貴重な資料をご覧いただく機会を増やそうと、不定期ですが図書館で展示しています。
今回はこれらの資料の中から、大正～昭和にかけて使われたさまざまな「帯(おび)」を図書館内に展示しました。冠婚葬祭の折に、山形村婦人会によりレンタル

されてきたものです。着物の帯ならではの繊細で華やかな意匠にうっとりします。しよゆゆのシミか？と思われる汚れすら、当時をしのぶよすがとなりました。
「この時代にレンタルの仕組みを作った婦人会もすごいよね。SDGsの先端だね」という声も聞かれました。
図書館の本はこんな風に購入しています～児童書展示会～
5月23日(火)、中南信の書店主催の児童書展示会に行ってきました。体育館くらいの広さの会場に、各児童書出版社の本が所せましと並べられています。実際に本を手にとって吟味できる貴重な機会です。
「情報が古くなってきているから、更新したいね」「このジャンルはよく読まれたから、買い足そうか」「このふりがなだつたら低学年でも大丈夫だね」「この本は〇ちゃんど☆ちゃんが、こっちは〇〇ちゃんが喜んでくれそう」子どもたちの顔を思い浮かべながら本を選んできました。
欲張って膨大なリストになりました。ここからさらに精査した本が図書館の棚に並びます。ご期待ください。



多数の新種を発見し命名した「日本植物学の父」牧野富太郎。波乱万丈の人生を、美しい植物画とともに辿ります。
『農業をささげる生きもの図鑑』
谷本雄治(小峰書店)
地味にスゴい。田んぼや畑で大活躍の虫たち。「畑で会ったら感謝しろよ」(BYカマキリ)
新着DVD
『土を喰らう十二ヵ月』『利休にたずねよ』『疎開した40万冊の図書』『ファンタスティックピースト③』
他

「瓢箪から人生」
夏井いつき(小学館)
テレビ番組「プレバト」の、辛口の講評で人気を博す夏井いつき。彼女自身の人生を綴った45編のエッセイです。
『牧野富太郎』(別冊太陽)
平凡社

『乾物レシピ』石原洋子(東京書籍)
乾物は常温で長持ち、栄養が凝縮、うまみがアップ！いいことづくめの日本のエコ食品です。滋味あふれる86品を紹介しています。
『瓢箪から人生』
ひょうたん

